息子に負けないように

社会福祉法人朝倉恵愛会　デイサービス宝珠の郷　銭花幸大

私は小学校５年生と３年生の子供を持つ父親です。

小学校３年生の息子は重～中度の知的障がいがあります。

生まれてからすぐには気付きませんでしたが、成長していくにあたって周りの子どもと少し違うと感じるようになり、様々な発達の検査を行い、自閉症という診断を受けました。

最初は中々受け入れられない自分がいて、「何で自分の子どもに…」と思ったり、妻の方は思い詰め、何がいけなかったのかなと自分を責めてばかりいて暗い日々を過ごしていました。

しかし、少しずつ、ゆっくりですが成長していく息子を見て、二人ともいつまでもこのままではいけないと思うようになり、受け入れていけるようになりました。

その後は、様々な人たちの援助や協力があり、無理だと思っていたランドセル姿の息子を見ることが出来ました。そして、言葉は出ないかもしれないと言われましたが、単語や短い言葉で少しずつ自分の気持ちを表現出来るようになり、初めて「お父さん」とぎこちないですが言ってくれたことは今でもしっかりと覚えています。

　これからも大変なことや何度も困難に直面することがあると思いますが、日々頑張って乗り越えている息子の姿を見て、私も負けずにがんばって行こうと思います。